

海外ドラマ

内藤 真理子

Netflixで海外ドラマ『ハウスオブカード』を見た。題はホームドラマのような感じだが英語の意味は、カードで組み立てた家・危なっかしい家で、ちなみにドラマの舞台は、ホワイトハウスである。

主人公はフランシス。大統領選で大いに尽力。国務長官になることが約束されていた筈なのに指名されず……という所から物語が始まる。

副題は『野望の階段』

怒ったフランシスは、美しく魅力的な妻のクレアと共に、大統領に仕え乍ら、従順なふりをし、彼を落とし入れる画策をしながら野望の階段を登っていく。

こう書いてしまうと身も蓋もないが、フランシスは演説が上手く、口も上手い好人物。ドラマでは、完璧に感じ良く相手の気に入ることを言い、次にカメラ目線で、チャーミングな語り手となり、本心（悪心）を視聴者に白状する、「ここだけの話だけどね」と耳打ちする様なやり方で……。

ホワイトハウスでは、メディアがあの手この手で情報を聞き出し、外に向かって発信をする。活気があり、取り上げ方ひとつで政治の流れが変わる。メディアが政治を作っているような、政治家がメディアを利用しているような場面もあり、迫力があつた。

それから何といっても選挙。選挙に勝つためならなんだってする。殺人ですら……。登場人物は誰も一癖も二癖もあり、選挙戦ともなると疑心暗鬼となり誰も信用出来ないのも、選挙準備の段階で周りの者の弱みを探って置いて、それをちらつかせて脅しながら確実に票をとっていく。性格悪い！

フランシスとクレアは仲の良い夫婦で、二人で力を合わせ、着実に野望の階段を登りつめ副大統領になり、更に、大統領を辞職に追い込み、遂に大統領となる。

ドラマでは外交問題も加わり、イスラエル、パレスチナ、はたまた島を巡って日本や中国が登場したりと、現在進行形の国際情勢を動かす模擬会議が映しだされる。ファーストレディーの美しいクレアが、ロシアの大統領を鼻の先であしらうような場面もあり退屈をしない。そして次の大統領選へと続く。

長い！ ドラマなので、何か月も放映しているのだろう。丁寧に作られている。

フランクは、権力を握ると傲慢になり、同時に、周りの者も異を唱えない。妻のクレアとて同じ。フランクが大統領になった暁には自分を副大統領にすることを約束させる。

すっかり嫌な奴になったフランクは、毒をまき散らせながら強引に大統領になった。クレアは副大統領に。

歴史は繰り返され、仲の良かった夫婦も、片や大統領の座を狙い、片やしがみつき、の展開に。やがてクレアが女性初の大統領に……。

この海外ドラマは、美しい出世物語ではなかった。人間の欲を大釜に入れて、ぐちゃぐちゃにかき回したような、灰汁は強いが深みのある面白いドラマだった。